

2022/3/25

養護教諭研究会

心理カウンセリング学科

## 令和3年度 日本赤十字救急法講習会便り

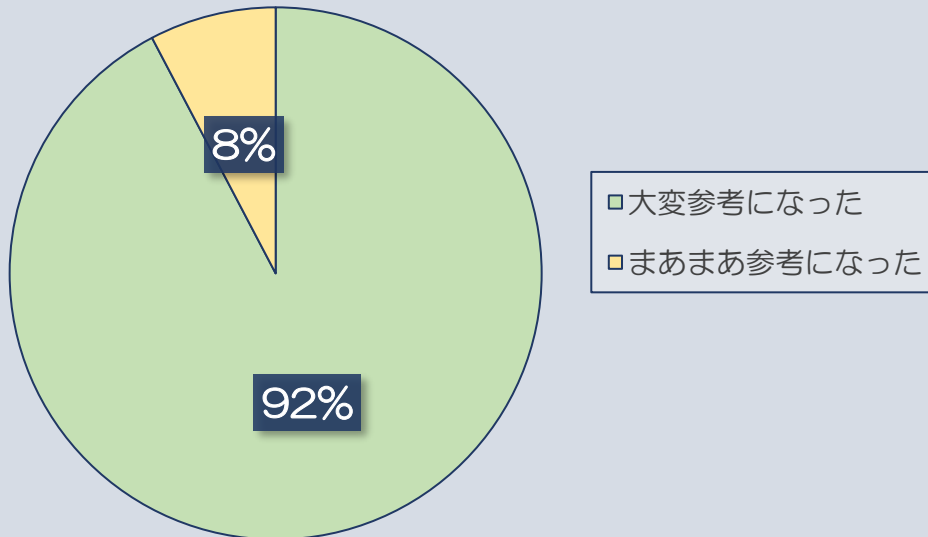
3月10日(木)にオンラインで開催されました「赤十字救急法短期講習・赤十字幼児安全法短期講習」では、ご参加いただきました多くの皆様にご理解とご協力をいただきありがとうございました。日本赤十字社の皆様からの分かりやすいご講義や、自分たちで用意した物品を用いての実技演習を行ったことで、大変有意義な時間になったのではないのでしょうか。今回は、当日の参加者の皆様に提出していただいたアンケートを集計し、次年度の養護教諭研究会の運営に向けた展望を掲載いたしましたので、是非ご覧ください。

調査実施日 令和4年3月10日(木)

参加者数 58名(1年:10名 2年:9名 3年:29名 4年:10名)

回答者数 52名

今回の講習会は参考になりましたか。



大変参考になった・・・48名  
まあまあ参考になった・・・4名  
どちらでもない・・・0名  
あまり参考にならなかった・・・0名  
参考にならなかった・・・0名  
無回答・・・6名

今回の日赤救急法講習会が大変参考になったと回答された方が多かったです。



皆様からいただいたご意見・ご感想から一部ご紹介いたします！



#### 参加を希望した理由

- ・心肺蘇生法や AED の実技は、免許取得や授業等で何回かやったことがあるが、忘れていた部分もあるため繰り返し行い、身につけたいと思った。また幼児安全法に対しての知識が少なく今回幼児安全法もあったため、参加した。
- ・現在養護教諭を目指しており、人の命に大きく関わる者として、緊急時に落ち着いて適切な判断・処置をできるようにするため、本講習会に参加した。
- ・今後いつどこで何かが起こるか分からない中で、傷病者を発見した際の観察の流れ、心肺蘇生や AED の実技をきちんと身に付け、焦らず咄嗟に行動できるようにになりたいと思い参加した。
- ・先日、電車で近くにいる方が急に倒れ、何もできなかったため、参加した。

#### 講習会の感想

- ・いざという時に行動できるように、繰り返し、定期的に行うことが大事だと改めて実感した。本日の講義会を受講して、誰かを救うことに対しての自信がついたと感じている。
- ・成人だけでなく、幼児や乳児などの心肺蘇生や異物除去について成人との違いを一つ一つ説明を聞き、流れを頭に叩き込むことが出来た。
- ・救命の連鎖の大切さが分かり、救命処置を行わなければならない現場に居合わせた際、スムーズにその連鎖を繋げることができるようすぐに行動したいと感じた。
- ・一気に説明、実践ではなく、区切りながらの説明と実践でポイントを確認しながら行うことができて理解しやすかった。
- ・救命には確認することや正しく行わなければならない手順が多く、学んだことを活かせるかと言われると難しいだろうなと思った。今日教わった内容を役に立て、さらなる学びに繋げていきたいと思った。

#### 次回への改善策

オンライン開催であったため、手元が見えなくて助言を受けることが難しかったり、実際の力加減で行ったりすることが難しかったと感じた。また、最後の質問の時間があまり十分とれなかったのではないかと感じた。そのため、質問の時間を間に組み込み、適宜疑問点を解消していくことが望ましいのではないかと考えた。



## 最後に

今年度の「日本赤十字救急法講習会」は対面からオンラインでの開催に変更となりましたが、先生や日本赤十字社の皆様、そして参加者の方々のご協力により無事に実施することができました。

直接会えない状況により、残念ながら実際に人の模型や AED を用いることはできませんでしたが、自分たちで用意した物品を用いた実技演習により、救命の連鎖の大切さを学ぶ機会となったのではないのでしょうか。

今回の講習会で挙げられた皆様の貴重なご意見を来年度に活かし、より良い会を開催できるように、次の3年生の養護教諭研究会に引き継ぎたいと存じます。

ぜひ、これからの救急実践場面に活かしてください！